

4. シンポジウム

Symposium

【1】平成28年度COC+シンポジウム

平成29年3月9日(木)、「平成28年度COC+シンポジウム」をアートホテル弘前シティにて開催した。

今回のシンポジウムは、主に県内の企業を対象とした「学生が企業を変える！企業力強化に向けた採用戦略」をテーマとして開催し、青森県内の企業・団体・NPO関係者、大学・教育機関関係者、自治体関係者など126名が参加した。

佐藤敬機構長(弘前大学長)による開会挨拶の後、第一部では、吉澤篤弘前大学理事(企画担当)・副学長による説明「COC+の取り組み」、NPO法人ETIC.ローカルイノベーション事業部マネージャーの伊藤淳司氏による講演「社長の夢をかなえた学生生活術」、株式会社オフィス55代表取締役の高木茂氏による講演「採用難時代を勝ち抜く企業」が行われた。

続いて第二部では、参加者が「インターンシップによる企業力アップ」と「情報発信強化による採用力アップ」の2つの分科会に分かれ、テーマごとに活発な議論が行われた。

分科会終了後、塩谷未知青森中央学院大学教授(キャリア支援センター長)と小磯重隆弘前大学准教授(教育推進機構キャリアセンター副センター長)から、各分科会で議論された内容についての報告があり、最後に花田勝美副機構長(青森中央学院大学長)による閉会挨拶が行われた。



佐藤敬 青森COC+推進機構長による開会挨拶



吉澤篤 弘前大学理事(企画担当)による取組説明



企業・団体・NPO、大学、自治体関係者が多数参加



NPO法人ETIC. 伊藤淳司氏による講演



株式会社オフィス55 高木茂氏による講演



分科会 「インターンシップによる企業力アップ」



分科会 「情報発信強化による採用力アップ」



塩谷未知 青森中央学院大学教授による分科会報告



小磯重隆 弘前大学准教授による分科会報告



花田勝美 青森COC+推進機構副機構長による閉会挨拶



会場フロアではこれまでの取組をポスターで紹介



平成28年度 COC+シンポジウム

「学生が企業を変える！企業力強化に向けた採用戦略」

日時：平成29年3月9日（木）13:00～16:00

場所：アートホテル弘前シティ 3階

プログラム

【第一部】

- 13:00～13:05 開会挨拶
青森COC+推進機構長(弘前大学長) 佐藤 敬
- 13:05～13:15 COC+の取り組み
弘前大学 理事(企画担当)・副学長 吉澤 篤
- 13:15～13:40 講演「社長の夢をかなえた学生生活用術」
NPO法人ETIC. ローカルイノベーション事業部 マネージャー 伊藤 淳司
- 13:40～14:05 講演「採用難時代を勝ち抜く企業」
株式会社オフィス55 代表取締役 高木 茂
- 14:05～14:25 休憩・ポスター展示（分科会会場へ移動）

【第二部】

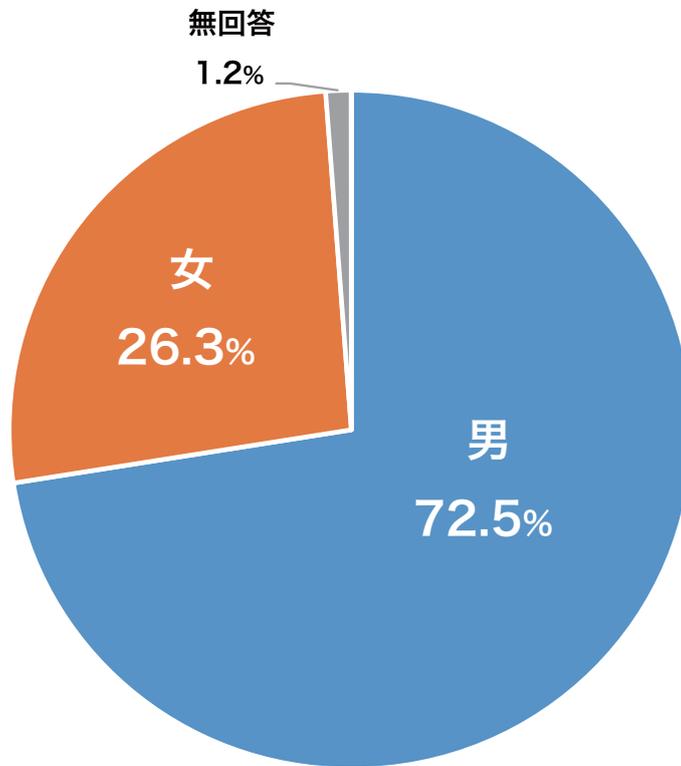
- 14:25～15:25 分科会「企業力・採用力の向上を目指して」
第1会場「インターンシップによる企業力アップ」
- 青森県の企業2社による話題提供
株式会社木村食品工業 執行役員 経営企画室長 辻脇 悟志
弘前航空電子株式会社 総務部主任 伊藤 学
- 会場の企業からの意見出し～まとめ
【司会】 青森中央学院大学 キャリア支援センター長 塩谷 未知
【コメンテーター】 NPO法人ETIC. ローカルイノベーション事業部 マネージャー 伊藤 淳司
- 第2会場「情報発信強化による採用力アップ」
- 青森県の企業2社による話題提供
マルマンコンピュータサービス株式会社 常務取締役 工藤 寿彦
株式会社ユニバース 人事教育部 人事グループ主任 箱崎 真也
- 会場の企業からの意見出し～まとめ
【司会】 弘前大学 教育推進機構キャリアセンター 副センター長 小磯 重隆
【コメンテーター】 株式会社オフィス55 代表取締役 高木 茂
- 15:25～15:35 休憩（全体報告会場へ移動）
- 15:35～15:55 分科会全体報告
- 15:55～16:00 閉会挨拶
青森COC+推進機構 副機構長(青森中央学院大学長) 花田 勝美
- 16:00 閉会

【2】 シンポジウム参加者アンケート

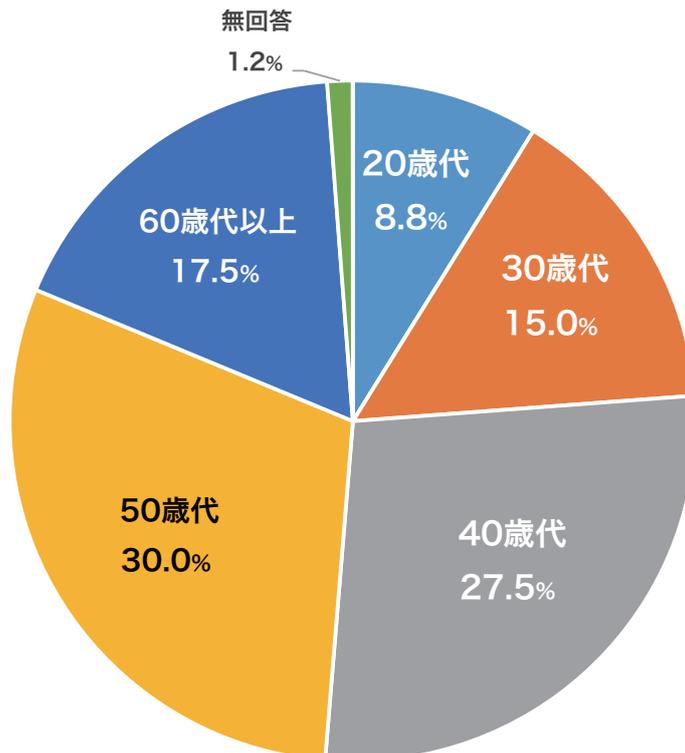
回答者数 80名 (全参加者の63.5%)

1. 参加者自身について

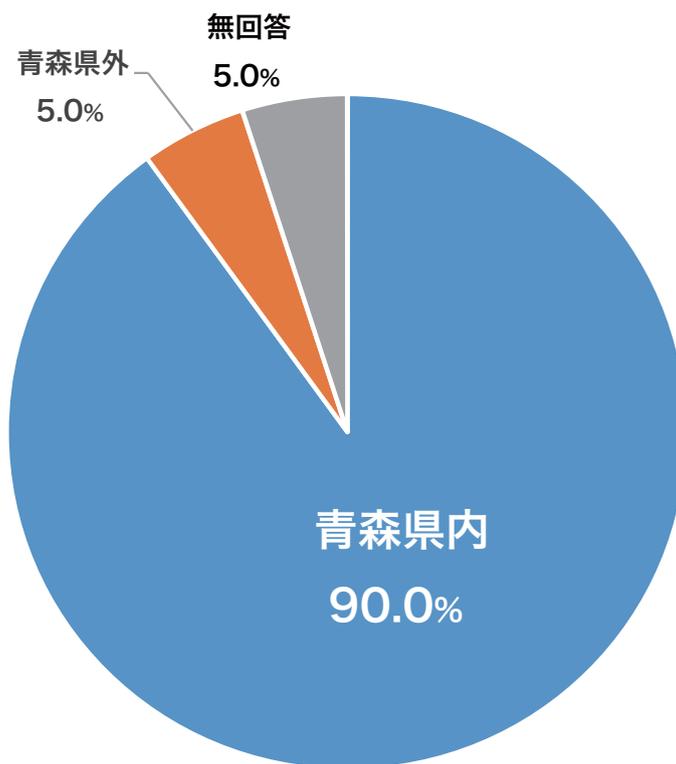
■性別



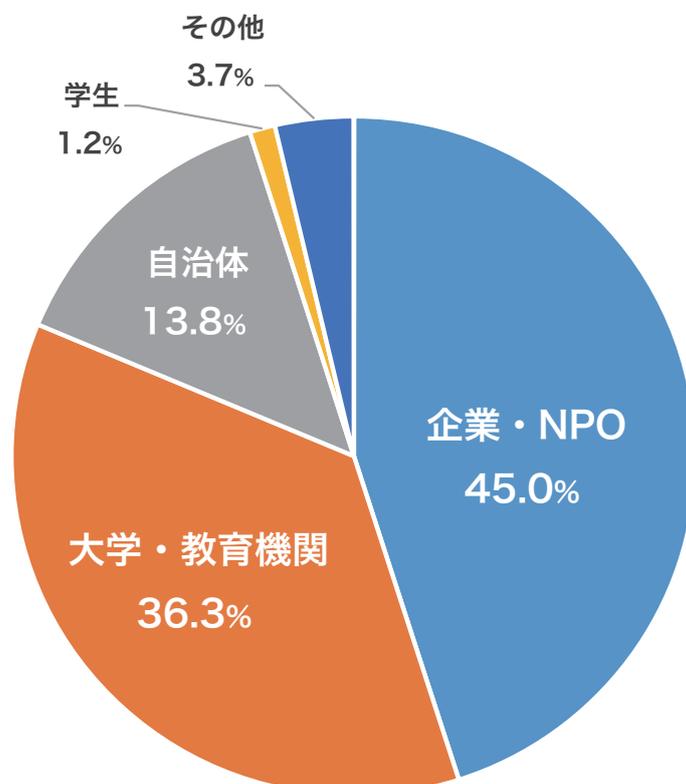
■年齢



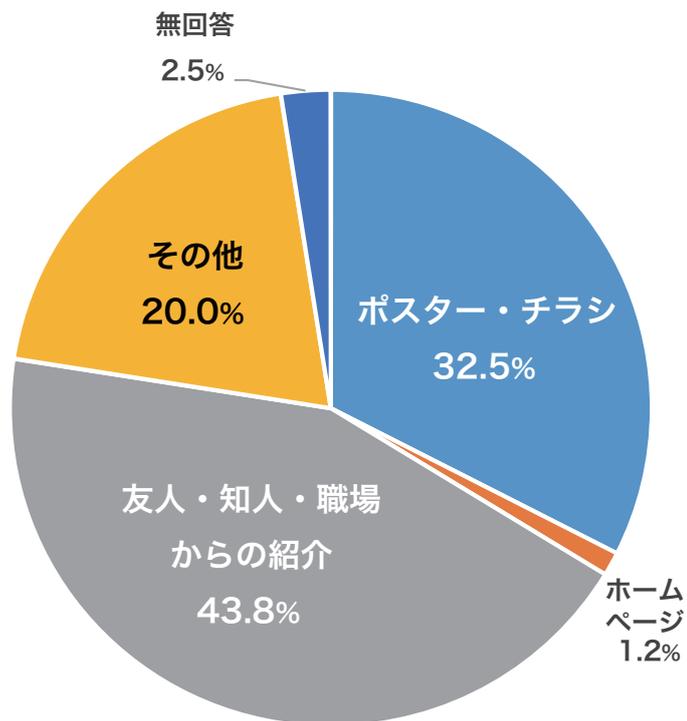
■住所



■職業

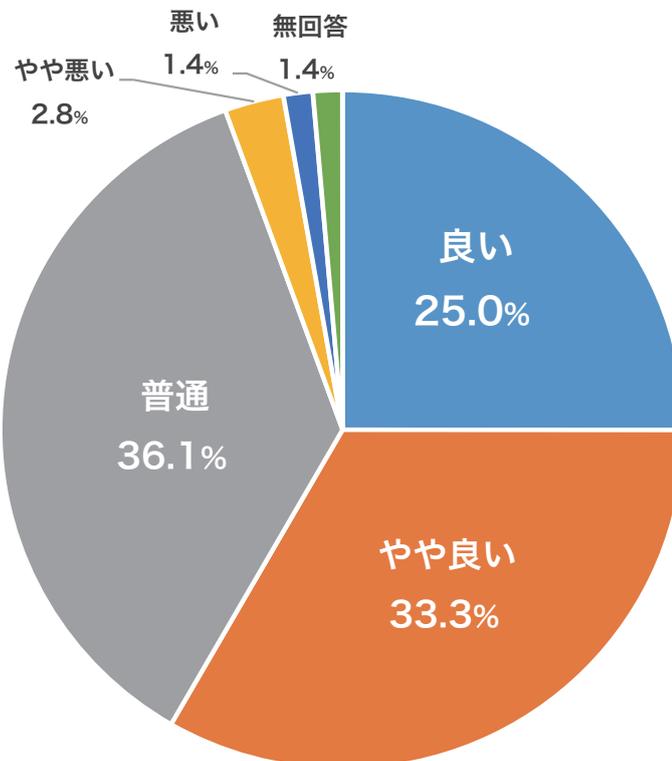


2. シンポジウムの開催を何で知りましたか？

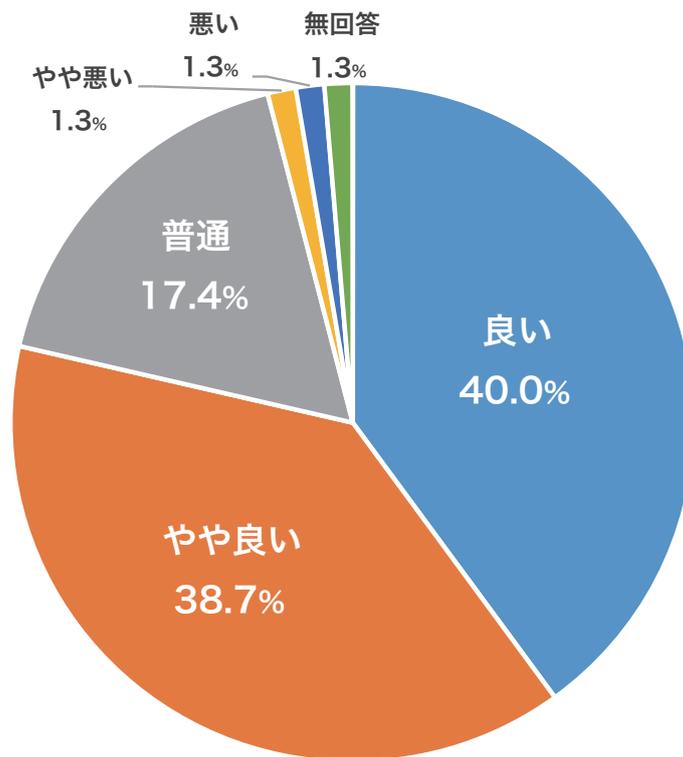


3. 参加した項目についての感想

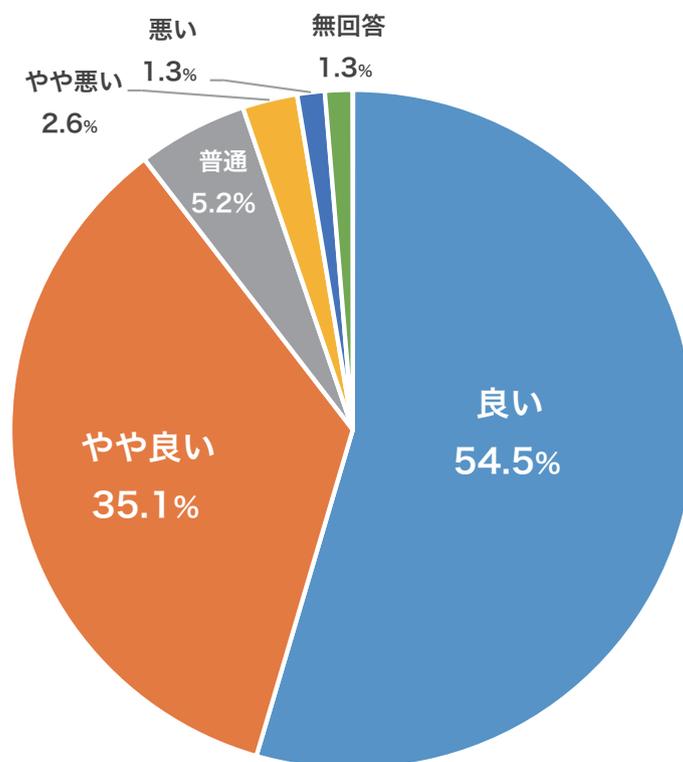
■ COC+の取り組み



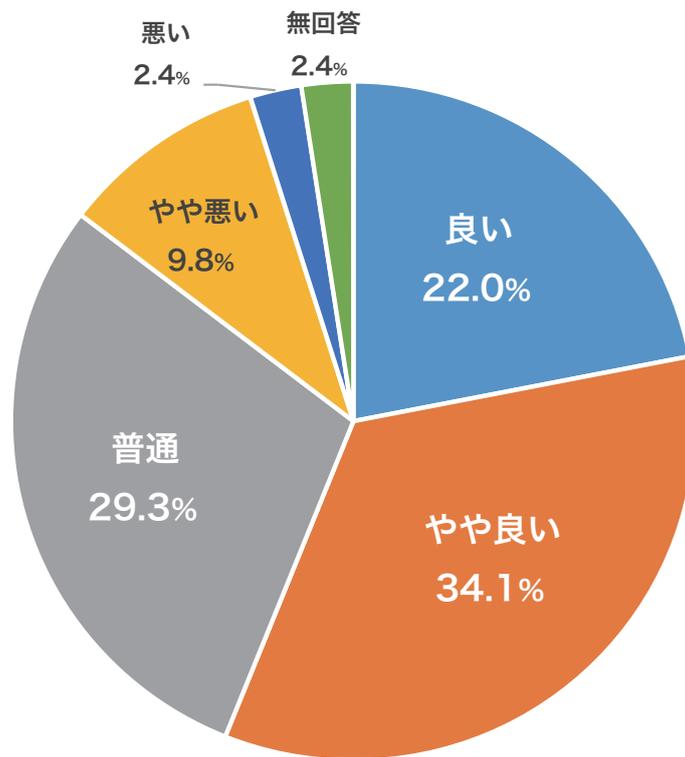
■ 講演(社長の夢をかなえた学生生活用術)



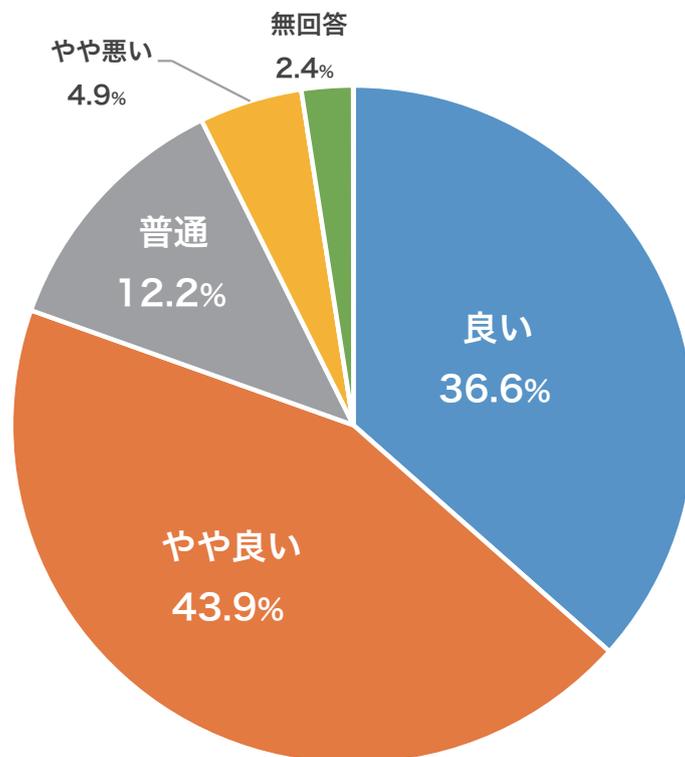
■ 講演(採用難時代を勝ち抜く企業)



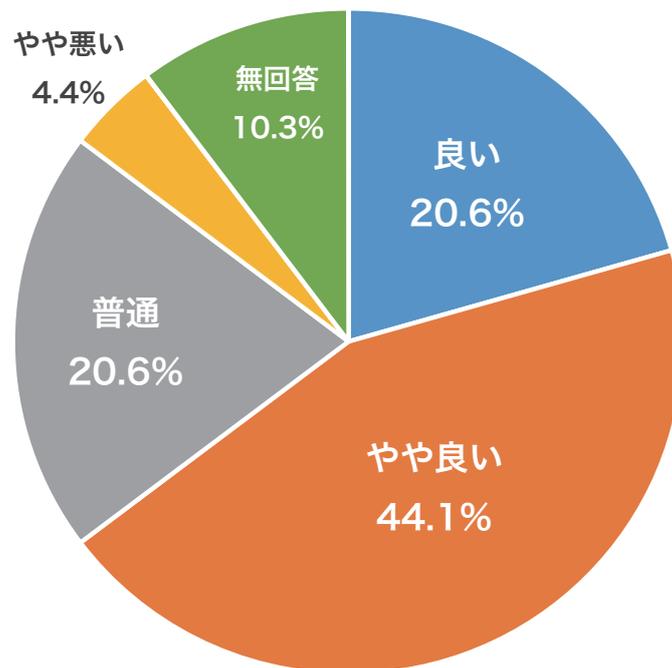
■分科会1 (インターンシップ)



■分科会2 (情報発信強化)



■全体報告



4. これからのCOC+事業に期待すること（自由回答）

(抜粋)

- 地域貢献をどのように果たしていくのかの具体的方策を研究・実践してほしい。
- 悪い風潮(うわさ)に対してどのようにアプローチするか、情報の伝達が早い(事実とは違う内容) マイナスイメージの払拭方法。
- 県内の中小企業と学生のマッチング。(リクナビやマイナビを利用しない形で)
- 中小企業発展につながる人材確保や育成、供給、技術開発、新しいアイデアなど。また、協力によって、社員のモチベーションも期待も高まるのでは？
- COC+事業が終了しても、青森県内の就職や若者の地元への就職に関する取組の継続を期待しています。
- 地域の課題やニーズを、もっとひろいあげることに力を注いではどうだろうと思う。雇用をつくり出すことが必要だと思う。
- 目標達成、そのために地元企業の協力を。
- 卒業生の地域定着率の向上。地域企業との連携。
- 県内学生の就職への意識・考え方を育てる事。
- 県内大学が積極的にインターンシップに取り組み、県内就職が促進されるようにしてほしい。各大学がインターンシップに取り組んでいる姿がみえない。
- 中小企業における採用の具体的提案と周知。
- 雇用創出に向けた、地域全体の環境整備。
- 青森で働きたい人(学生)と、青森の企業で学生を採用したい会社とのマッチングに力を入れていただきたい。インターネットで、学生と企業の両方の情報を公開し、どちらからも連絡を取れるようにしてはどうか。(学生が了承すれば・・・)
- COC+事業の企業・県民を巻き込んだムーブメントをつくる。